

【代表質問要旨】

1 「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録について

(1) イコモスの勧告を受け、「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録のラストスパートに向けた知事の意気込みを伺いたい。また、登録後を見据え、来訪者の受入環境の整備にどのように取り組んでいるのか。

(2) 藤原宮跡の国営公園化の実現に向けた現状と、県として今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

(3) 海外からの賓客に対応するため、国の迎賓館を「飛鳥・藤原」地域に誘致することについて、知事の見解を伺いたい。

2 陸上自衛隊駐屯地の誘致について

全国で唯一、陸上自衛隊駐屯地が無い本県への駐屯地誘致につ

いて、知事の意気込みと、防衛省など国関係機関に向けた具体的な取組を伺いたい。

3 がん医療の提供について

がん患者が安全かつ安心な質の高い治療を受けられるよう、本県ではがん医療はどのように提供されているのか。また、現状における課題とその対応の方向性についてはどうか。

4 近鉄大和八木駅北側のまちづくりにおける文化ホール機能のあり方について

県はこれまで、橿原文化会館を廃止することを打ち出しているが、近鉄大和八木駅北側のまちづくりを進めるにあたり、橿原市長の発言も踏まえ、県として文化ホール機能のあり方をどのように考えるのか。



質問詳細と答弁は、ホームページに記載させて頂いております

「飛鳥・藤原の宮都」 世界遺産としての価値

～人類全体にとってかけがえのない価値～

「飛鳥・藤原の宮都」は、中国大陸や朝鮮半島との活発な交流を通じて日本で初めて生まれ、その後の日本の都づくりや文化にも大きな影響を与えた古代国家の宮都の遺跡群です。

6 世紀末から 8 世紀初頭にかけて、中央集権体制がどのように生まれ、発展していったのかを、2 つの連続する時代の宮都の変遷から示すことができる、唯一無二の貴重な遺跡です。



南東側には「飛鳥の宮都」があった盆地、北西側には「藤原の宮都」があった平野が広がる。(明日香村上空より北を望む)



飛鳥宮跡は、630 年、推古天皇の後に継いだ舒明天皇により岡本の宮として造られ 4 時期にわたり歴代天皇の宮殿が置かれた。

【奈良県ホームページより】

後援会からのお知らせ

真夏日の暑い日が続いておりますが、皆様お元気にお過ごしでしょうか。平素は山本のぶあき後援会にあたたかいご支援を賜り誠に有難うございます。

皆様にご心配をおかけしておりました山本の体調は、写真でご覧いただけますように、野球大会の開会式に出席をさせていただくほど回復いたしました。

後援会といたしましては、元気になった山本の議員活動を、今まで以上に支援して参る所存でございます。

今後とも後援会とともに山本のぶあきにご支援ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、山本が会長を務めます「自衛隊音楽隊と集う友の会」主催ふれあいコンサートは 10 月に開催予定です。

山本のぶあき後援会 会長 花井 草



(左上) 第 46 回学童軟式野球大会マクドナルドトーナメント 2026

(上) 第 79 回奈良県中学校選抜野球大会(兼)第 43 回全日本少年軟式野球大会奈良県予選会

(左) 第 108 回全国高校野球選手権奈良大会